高等部道徳科学習指導案 『あこがれのスマートフォン』

**１　主題名**　生活を作る　　A-(２）　節度　節制

**2　ねらいと教材**

（1）ねらい

・生活をつくる

・スマートフォンの依存が心と体に及ぼす影響について考えることができる。

・自分自身の生活習慣を見直し、節度をもったスマホの利用について考え、自らルールを決めることができる。

（2）教材　　あこがれのスマートフォン　（P１６-１９）

**３ 主題設定の理由**

本主題は、以下の中学校新学習指導要領「特別の教科 道徳」（平成２９年３月告示）の内容項目のねらいを受け、個々の生徒の知的障害の状態、生活年齢、学習状況及び経験等に応じるとともに、青年期の特性を考慮して、健全な社会生活を営む上に必要な道徳性を一層高めるために、適切に指導の重点を定め、指導内容を具体化した。

|  |
| --- |
| A　主として自分自身に関すること　　（２）　節度　節制  望ましい生活習慣を身に付け,心身の健康の増進を図り,節度を守り節制に心掛け,安全で調和のある生活をすること。 |

1. ねらいとする道徳的価値について【価値観】

中学生や高校生の多くがスマートフォンを手にしている時代である。知りたいことを瞬時に検索できる便利さや、気軽に無料のゲームや動画を楽しめることなどから、健康を害するまで長時間使用してしまう依存状態の生徒も多く、社会問題化している。主人公の状況を理解し、その原因と改善策を考えることで、節度をもって自分自身を律する態度を育てていきたい。

（２）生徒の実態について【生徒観】

自分の気持ちなどを簡単な言葉で書き表すことができる生徒を対象とする。字を書くことが苦手な生徒に対しては、単語や話し言葉での表現を代筆するなどの配慮を行う。

日常の学校生活においては、生活指導や特別活動、また、自立活動を中心に、SNSルールや公共の場でのスマホマナー、規則正しく健康的な生活を送ることの大切さと関連させながら指導していく。

（３）教材について【教材観】

誕生日プレゼントで念願のスマートフォンを手にした主人公の弘志さんが、学校にいるとき以外、スマホのゲームや動画を視聴する時間が多くなり、昼夜逆転の生活に陥ってしまう。次第に学校にも行けなくなり、体調も悪化していくという話が紹介されている。

この話を読んで、主人公がどうして学校に登校できなくなったのか、どうしたら健康を取り戻せるのか等、原因と改善策を考えた上で、自分自身の生活習慣を見直し、スマートフォンのマイルールを作成することができる教材となっている。

**４　学習指導計画**

（1）全体計画 １時間（本時）

（2）準備　　　P.C、モニター、場面絵スライド、

グループ毎（発表用ミニホワイトボード×２、ホワイトボードマーカー、ホワイトボード消し）

（3）指導過程

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 時間 | 学習活動（主な発問） | 予想される生徒の発言 | 指導上の留意点  ☆評価の観点 |
| 導  入 |  | １　スマートフォンを初めて買ってもらった時のことを思い出す。  ○今、あなたは初めてスマートフォンを手にしたとします。あなたはどんな気持ちですか？  〇また、どんなことをしたいですか？ | ・嬉しい  ・やったー  ・SNSができる  ・ゲームをしたい  ・動画を見たい  ・ | ・３～４人のグループで着席  ・各グループで発表者と記録を決める。あるいは指名する。  ・生徒の発言を板書する。  ・スマートフォンホを持っていない生徒に配慮する。  ☆思いを言葉にすることができる。（思・判・表） |
| 展  開 |  | 2　教材　　「あこがれのスマートフォン」を読み、グループで話し合う。  ・教師が教材を朗読する  〇弘志さんは、どうして学校に登校できなくなったのですか？  ・原因についてグループで話し合う。  ・発表用ボードを見ながら発表する。  ・P１８の①欄に自分の考えや友人の発表を記入する。  ○弘志さんはどうしたら元気になれますか？  ・改善策についてグループで話し合う。  ・発表用ボードを見ながら発表する。 | 課題　なぜ弘志さんは学校に登校できなくなったのかを考えよう。（原因）  ・体の調子が悪いから  ・起きられないから  ・夜更かししているから  ・ゲームばかりしているから  ・スマートフォンをしていたから  課題　どうしたら元気な弘志さんに戻れるか考えよう。（改善策）  ・早く寝る  ・スマートフォンを使いすぎない | ・教科書のP１６を開く。  ・読む場所を見失った生徒には隣の生徒と助け合うよう言葉を掛ける。  ・本文P１７挿絵をモニターに写す。  グループワーク  ・言葉にすることが難しい生徒には、机間指導により本文のキーワードを指し示しヒントを与える。  ・一度声に出して書き取らせる。  ・○時○分までと発表までの時間を示す。  ・グループで話し合ったことを発表用ボードに記入し、記入したボードを黒板に貼るよう伝える。  ☆自分の考えや、友人の発表を書く事ができたか。  （知・技）  グループワーク  ・発表までの時間を示す。 |
|  |  | ・P１８の②欄に自分の考えや、友人の発表を記入する。  ３　自分自身の現在の状況を振り返り、  節度をもって自分を律している事を発表する。  ○現在のあなたがスマートフォンを使用時刻や、寝る時刻と起きる時刻について教えてください。  ・P19（現在）に記入する。  ○スマートフォンを使うときに気を付けることは何ですか？  ○あなたのこれからの生活のルールを自分で決めましょう。  ・P19（これから）に記入する。  ・書いた内容を発表する。 | ・使用時間を決める  課題　あなたの生活習慣を見直して、スマートフォンのマイルールを作ろう。  ・スマートフォンは４時間  ・１２時までには寝ます  ・朝は6時に起きます  ・食事の時はさわらない  ・布団にスマートフォンを持ちこまない  ・夜は家の人に預ける  ・ゲームは課金しない | ☆主人公の状況を理解し、グループで話し合い発表できたか  （知・技）  ☆積極的に自分の意見を相手に伝えられていたか、また相手の意見を共感しながら聞いたか。  （態度）  ・挙手を促し、何人かに答えてもらう。  ・生徒の発言を板書する  ☆学んだこと応用し自分に置き換えて考えることができたか。  （思・判・表） |
| 終  末 |  | ４　スマートフォンのマイルールが完成したことを  褒める。教師の説話を聞く  ・自分で決めたからにはルールを守ることを約束する。  ○今日学んだことや自分で決めたルールは家の人に伝え、守っていけるよう見守ってもらいましょう。 | ・がんばろう  ・寝る時刻は守ろう | ・授業だけでなく家族と話し合うことが大切。自分で決めたマイルールを守っていけるよう家族の協力を得ることを伝える。 |

（4）終末での教師の説話例

スマートフォンはとても便利で、正しく使えばとても生活が豊かになるアイテムです。でも、楽しいからといって夢中になり、スマートフォンに一日の大半の時間を支配されてしまえば、体調にも心にも良い影響はありません。便利で楽しい道具を扱うには、道具に支配されてしまわないように、自分の心を自分でコントロールする強さが必要なのです。それは大人ですら簡単なことではありませんが、毎日の積み重ねで習慣にすることができます。習慣になるまでは心のブレーキを強く踏まなければなりませんが、だんだんと慣れてきます。まずは自分で決めたルールを守ってみましょう。難しい時には、家族に協力してもらうと良いでしょう。スマートフォンと上手に付き合ってほしいと願っています。